

# 社員とお客様の“幸せ”を追求する 100年の実績を誇る総合建材会社



代表取締役

坪井 道子

インタビュアー  
渡嘉敷 勝男

住宅総合資材販売  
株式会社 ツボイ

【本社】福島県郡山市富田町諏訪西 50

TEL 024-966-0301

FAX 024-952-2944

URL : <http://www.kabu-tsuboi.com>

株式会社 スミ建



1909年に材木商として立ち上げられた『ツボイ』は、その後、時代の流れと共に業容を拡大。現在では建築資材の販売はもちろん、プレカットシステムによる加工販売やリフォーム事業にも着手している。100年以上の歴史を重ねた今も挑戦を続ける同社を、渡嘉敷勝男氏が訪問した。

渡嘉敷 「ツボイ」さんは建築資材販売を中心に、家づくりのあらゆる分野で活躍されているそうですね。坪井社長は、幼いころから後継を意識されて？

坪井 そうですね。姉に継ぐ気がなかったため、次女である私が子どものころから「やるやる」と言っていました（笑）。業界で経験を積もうと、女性でも営業を任せてもらえる『サンウェーブ』（現『LIXIL』）さんで修業を重ねた後、実際に家業に入ったのは27歳の時。代替わりを果たしたのは32歳です。ちょうどお腹に子どもがいる時期に、いきなり父が「社長を辞める」と言い出しましてね。急な話に不安も覚えました。が、「皆が助けてくれるから」という父の言葉通り、社員の皆が色々なことを教えてくれます。本当に感謝しています。

渡嘉敷 社長職を継がれてからは、いかがでしょう。

坪井 東日本大震災以降の建設需要の影響で、当社もかなり忙しくさせていただいています。私が事業を引き継いだ時には総勢30名ほどだった社員が、今では倍の60名、別会社『スミ建』も含めると80名にまで膨らんでいるんですよ。

渡嘉敷 それはすごい成長だ！ では、社員さんたちをまとめるため、社長が大切にされていることは何でしょう。

坪井 社員と小まめにコミュニケーションを取ることです。「社員が100人になろうと、1,000人になろうと全員の顔が分かる経営者でありたい」というのが私の信条。昨日

はボーナスの支給日だったのですが、一人ひとりに明細を渡しながら「何か要望はないか？」「先輩にいじめられてはいないか（笑）」と、声をかけていました。また、営業所の社員にはあまり会えないので、その分飲み会を開いたりして交流を図っているんですよ。さらに私は、どんなに景気が悪い時でも、毎年必ず1～2名の新人を採用しています。そうしないと、一番下の社員が育ちませんからね。

渡嘉敷 社員さんを思う気持ちが、ひしひと伝わってきます。

坪井 会社を営む上で一番大事なものは、やはり“人”です。皆のお陰で今の当社があるわけですから、社員にはまず「自分と家族を大事にしてほしい」と言っています。会社はその後で構いません。そうして、社員、ひいては会社全体が幸せでなることではじめて、お客様にも幸せを届けられるのだと考えています。私共は、将来的には100億円企業となることを目指していますが、それも“会社を大きくして福利厚生を充実させたい”からこその目標です。

渡嘉敷 “幸せ”を追求する御社の、さらなる飛躍を期待しています！

(2014年8月取材)

